

核都市広域幹線道路(埼玉新都心線～東北道付近) の概略ルート、構造の検討状況について

令和6年6月25日

大宮国道事務所

1. 核都市広域幹線道路(埼玉新都心線～東北道付近)の概要	2
2. 核都市広域幹線道路(埼玉新都心線～東北道付近)検討会の進め方、スケジュール.....	4
3. 核都市広域幹線道路(埼玉新都心線～東北道付近)の検討状況.....	5
4. コミュニケーション活動の実施概要.....	6
5. 第1回ワークショップの実施結果.....	8
6. コミュニケーション活動の実施結果	10

1. 核都市広域幹線道路（埼玉新都心線～東北道付近）の概要

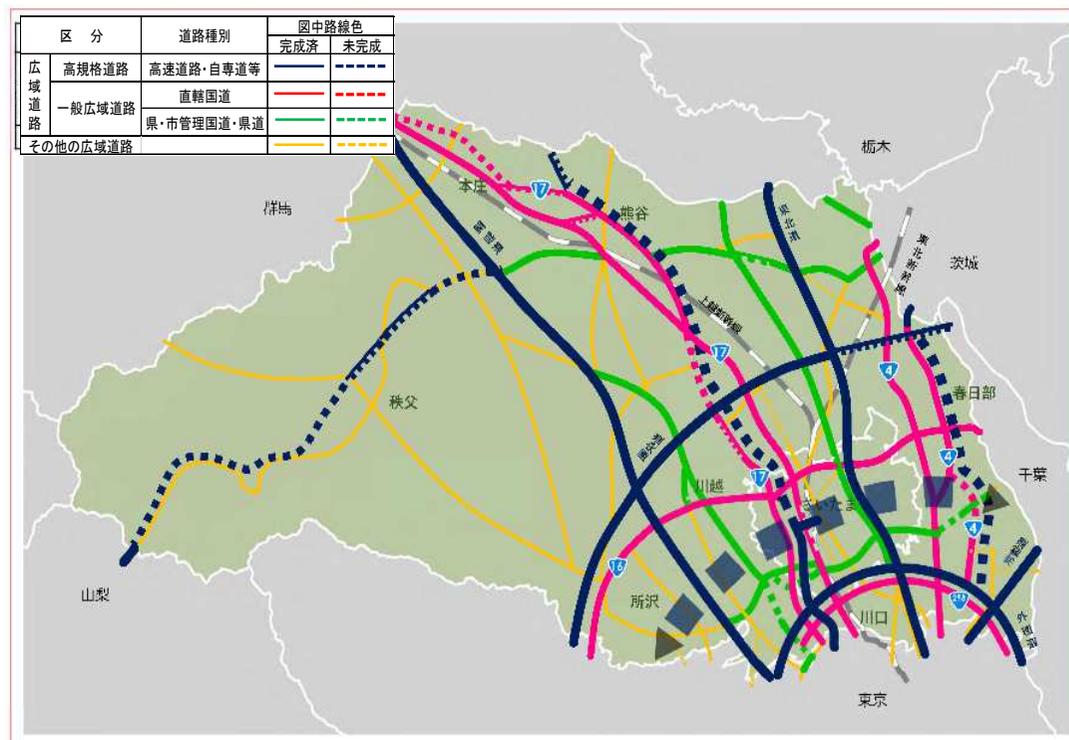
- 核都市広域幹線道路は、「関東ブロック新広域道路交通ビジョン・計画」および「埼玉県広域道路交通計画」で「高規格道路に位置づけ」
- 核都市広域幹線道路は、圏央道と東京外環道の間に並行するように位置し、神奈川、東京、埼玉、千葉を相互に連絡し、これらの交流・連携を促進する広域道路ネットワークを形成する道路として計画。
- 外環道(三郷南～高谷)開通後の交通状況変化等に対応し、埼玉県南部における慢性的な混雑を改善し、物流施設の立地や人口集積が進む圏央道と外環道間の東西方向の連携を強化する観点から、**埼玉新都心線～東北道付近間**が本検討の対象区間。

■ 関東ブロック新広域道路交通計画



(令和3年7月、国土交通省関東地方整備局)

■ 埼玉県広域道路交通計画



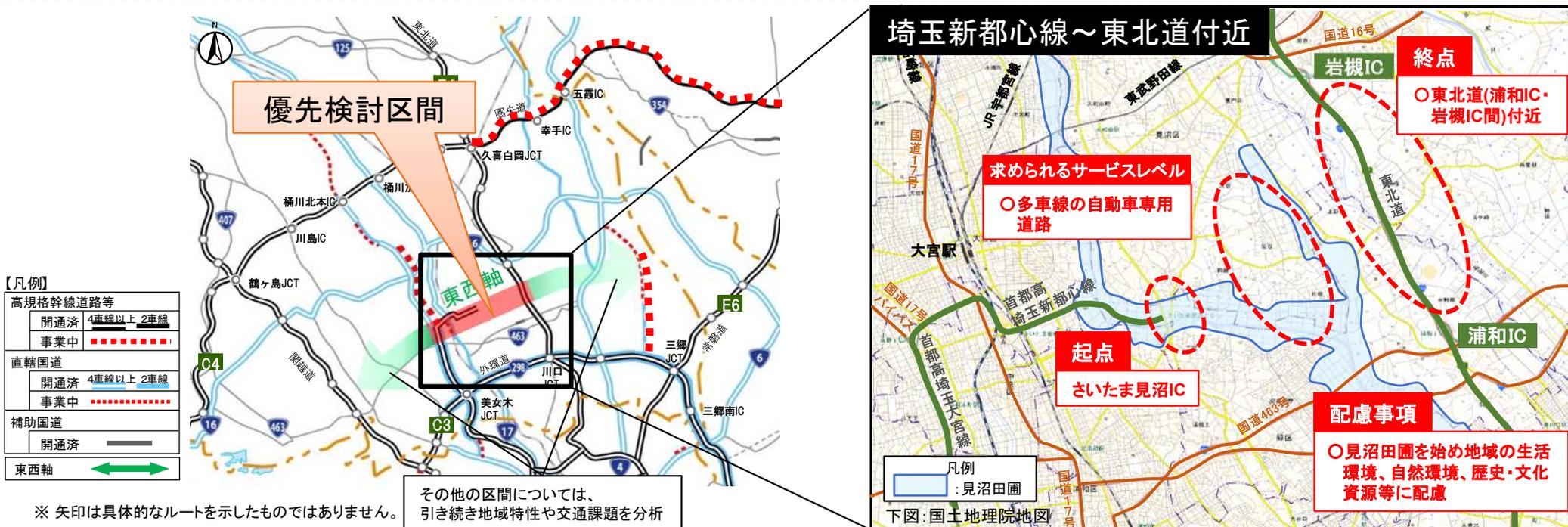
(令和3年6月、埼玉県・さいたま市)

1. 核都市広域幹線道路（埼玉新都心線～東北道付近）の概要

埼玉県東西軸道路検討会(令和3年12月10日)のとりまとめ

埼玉県東西軸道路検討会で優先検討区間についてとりまとめを実施

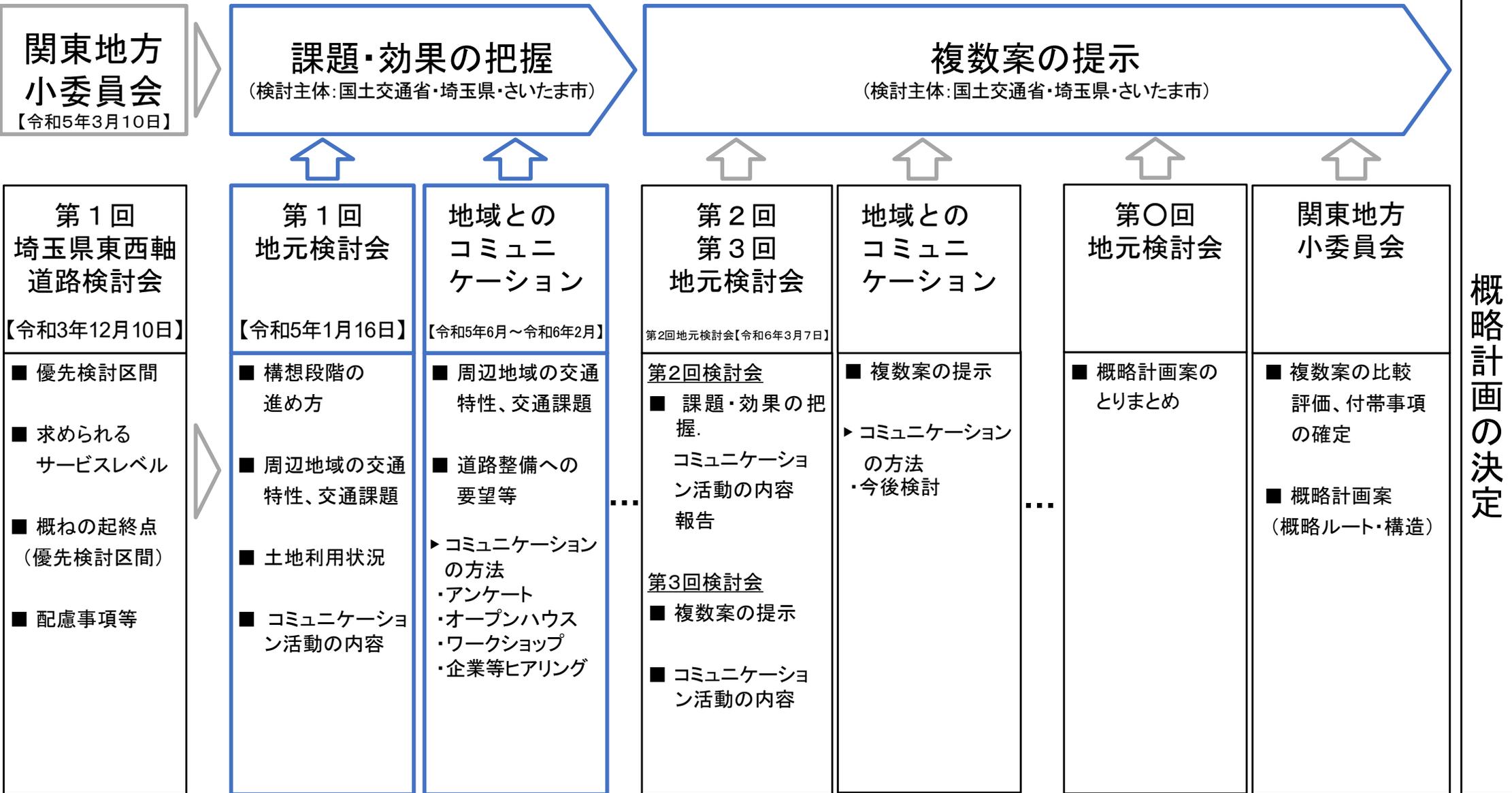
- 優先検討区間**:外環道(三郷南～高谷)開通後の交通状況変化等に対応し、埼玉県南部における慢性的な混雑を改善し、物流施設の立地や人口集積が進む圏央道と外環道間の東西方向の連携を強化する観点から、埼玉新都心線～東北道間を優先し、概略計画の検討(計画段階評価)を進める。
- 求められるサービスレベル**:多車線の自動車専用道路
- 概ねの起終点(優先検討区間)**:起点はさいたま見沼IC、終点は東北道(浦和IC～岩槻IC間)付近とする。
- 配慮事項等**:
 - ・概略計画の検討にあたっては、地域の重要な区域・施設を把握し、見沼田圃を始め生活環境、自然環境、歴史・文化資源等に配慮する。
 - ・このためさいたま市が中心となり、国や埼玉県とも連携し、道路の必要性等について地域住民の理解を得られるよう、積極的に取り組む。
 - ・国、埼玉県及びさいたま市は、周辺道路管理者の東日本高速道路(株)及び首都高速道路(株)と調整しながら、今後の検討を進めていく。



2. 核都市広域幹線道路(埼玉新都心線～東北道付近)検討会の進め方、スケジュール

令和6年3月7日 核都市広域幹線道路(埼玉新都心線～東北道付近)
第2回 地元検討会資料一部抜粋

■今後の検討会の進め方、スケジュール (案)



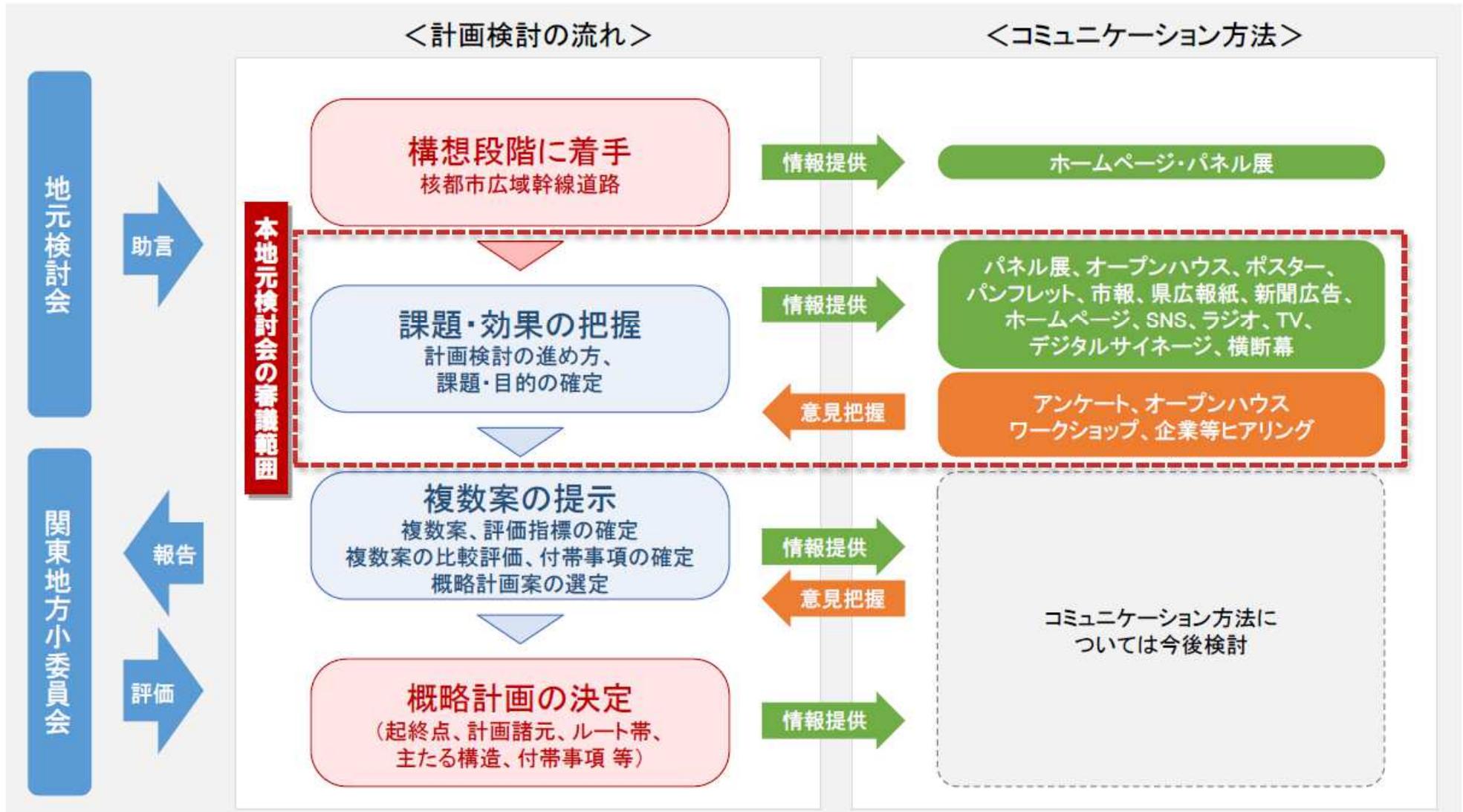
3. 核都市広域幹線道路（埼玉新都心線～東北道付近）の検討状況

令和6年3月7日 核都市広域幹線道路(埼玉新都心線～東北道付近)
第2回 地元検討会資料抜粋

○今回の地元検討会では、以下の内容について報告・審議する。

- ・【報告事項】『課題・効果の把握』に関するコミュニケーション活動の実施概要、実施結果、意見要旨及び対応案
- ・【審議事項】「計画検討の進め方(案)」および「課題・目的(案)」

■ 本地元検討会の審議の範囲



※地元検討会委員：有識者、大宮国道事務所、埼玉県、さいたま市、東日本高速道路(株)、首都高速道路(株)

4. コミュニケーション活動の実施概要 ①情報提供

令和6年3月7日 核都市広域幹線道路(埼玉新都心線～東北道付近)
第2回 地元検討会資料抜粋

○計画検討の進め方(案)、埼玉県圏央道以南地域の交通課題、意見聴取の開催などについて、沿線地域内外の方々へ広く周知するため、パネル展やオープンハウス、市報、新聞広告、SNS、ラジオ、デジタルサイネージ、横断幕などにより情報提供した。

■課題・効果の把握における地域への情報提供内容

周知方法	周知対象	概要	実施箇所	実施期間
パネル展	主に沿線地域の住民	埼玉県庁、さいたま市区役所等でパネルを展示して、検討の進め方、交通課題について情報提供	・埼玉県庁/さいたま市役所(本庁、10区役所) ・道の駅など計18箇所に展示	令和5年2月～
オープンハウス		さいたま市区役所、集客施設等でオープンハウスを行い、パネルを展示して、検討の進め方、交通課題について情報提供	・さいたま市区役所(見沼区、緑区、大宮区) ・集客施設(埼玉スタジアム/イオン浦和美園など) ・さいたま市外のSA・PA、道の駅など計15箇所	令和5年6月～8月
ポスター、パンフレット、市報、県広報紙		・大宮国道事務所、さいたま市区役所、集客施設等でポスター、パンフレットを留め置きして、検討の進め方、交通課題、意見聴取の実施について情報提供 ・市報でワークショップの実施について情報提供 ・県広報誌で計画検討の着手について情報提供	・関東地方整備局、大宮国道事務所 ・埼玉県庁/さいたま市役所(本庁、10区役所) ・さいたま市外のSAPA、道の駅、大学など計11箇所 ・集客施設(埼玉スタジアム/浦和美園駅) ・市報(さいたま市内の全戸へ配布) ・広報誌(県内の各家庭に新聞折り込みでの配布、行政施設等での留め置きなど)	令和5年2月～
新聞広告	主に沿線地域外の住民	地元新聞で広告を掲載して、意見聴取の実施について情報提供	・埼玉新聞(6/22(木))	令和5年6月
ホームページ、SNS(X(旧Twitter)等)		大宮国道事務所、埼玉県、さいたま市のホームページやSNSで記事を掲載して、検討の進め方、交通課題、意見聴取の実施について情報提供	・大宮国道事務所、埼玉県、さいたま市	令和5年2月～
ラジオ・TV		地元ラジオ等で宣伝を流して、意見聴取の実施について情報提供	・FM NACK5(FM79.5)「朝情報★埼玉」(7/13(木)) ・テレビ埼玉「マチコミ」(6/22(木))	令和5年6月・7月
デジタルサイネージ	主に沿線地域の住民	大宮国道事務所やさいたま市区役所等のデジタルサイネージで画像を流して、検討の進め方、交通課題について情報提供	・関東地方整備局、大宮国道事務所 ・さいたま市外のSA・PA(計7箇所) ・さいたま新都心駅改札前/さいたま市区役所など	令和5年2月～
横断幕		さいたま市周辺の東北自動車道、国道16号、国道298号、国道463号などの歩道橋に横断幕を設置して、検討に着手したことを情報提供	・東北自動車道 : 2箇所 ・国道16号/298号 : 各5箇所 ・国道463号/17号 : 各1箇所	令和5年8月～

4. コミュニケーション活動の実施概要 ②コミュニケーション活動

令和6年3月7日 核都市広域幹線道路(埼玉新都心線～東北道付近)
第2回 地元検討会資料抜粋

○埼玉県圏央道以南地域の交通課題や道路整備への要望等について、幅広く意見を把握するため、アンケート、オープンハウス、ワークショップ、企業等ヒアリングのコミュニケーション活動を行い、計5,625票の回答を得た。

■課題・効果の把握における地域とのコミュニケーション内容

分類	実施対象	概要	実施箇所等	実施期間	回答数
アンケート	沿線地域の住民	沿線地域住民を無作為に抽出し、 <u>調査票の郵送配布、返信はがき回収</u> により意見を聴取 幅広い回答を得るため、 <u>Webアンケート</u> も活用し意見を聴取	<ul style="list-style-type: none"> さいたま市見沼区、緑区、岩槻区住民(無作為抽出)へ調査票郵送、返信はがき回収 さいたま市外のSA・PA、道の駅など計27箇所に回答フォームのQRコードを記載したチラシを設置 ポータルサイトに回答フォームのリンクを設置 	令和5年10月2日(月) ～11月30日(木)	4,715
オープンハウス		さいたま市区役所、集客施設等で <u>オープンハウス</u> を開催し、調査票に基づいて意見を聴取	<ul style="list-style-type: none"> さいたま市区役所(見沼区、緑区、大宮区) 集客施設(埼玉スタジアム/イオン浦和美園など) さいたま市外のSA・PA、道の駅など計15箇所 	令和5年6月27日(火) ～8月5日(土)	633
ワークショップ		沿線地域外の住民	さいたま市区役所等で <u>ワークショップ</u> を全2回開催し、議題を提示して複数のグループ毎に意見交換	<ul style="list-style-type: none"> 第1回ワークショップ <ul style="list-style-type: none"> - 片柳コミュニティセンター(見沼区) - 緑区役所(緑区) - 岩槻駅東口コミュニティセンター(岩槻区) 第2回ワークショップ <ul style="list-style-type: none"> - 岩槻区役所(岩槻区) - 緑区役所(緑区) - 片柳コミュニティセンター(見沼区) 	<ul style="list-style-type: none"> 第1回ワークショップ <ul style="list-style-type: none"> - 令和5年8月24日(木) - 令和5年8月30日(水) - 令和5年9月3日(日) 第2回ワークショップ <ul style="list-style-type: none"> - 令和6年1月18日(木) - 令和6年1月19日(金) - 令和6年1月23日(火)
企業等ヒアリング	詳細に意見を把握する必要のある企業、自治体、見沼田圃関係団体	核都市広域幹線道路の利用が想定される企業や沿線地域住民、見沼田圃関係団体に対して、 <u>ヒアリング</u> を行い、意見を聴取	<ul style="list-style-type: none"> ①沿線の企業 <ul style="list-style-type: none"> - 教育機関(小・中) - 医療関係 - 農業組合 - 警察署 - 消防署 ②情報提供と意見を伺う場(沿線地域住民) <ul style="list-style-type: none"> - 美園公民館(緑区) - 岩槻南部公民館(岩槻区) - 片柳コミュニティセンター(見沼区) ③見沼田圃関係団体個別意見交換会 	<ul style="list-style-type: none"> ①令和5年7月1日(土) ～8月31日(木) ②令和5年11月11日(土) ～11月18日(土) ③令和5年7～8月 令和6年2月1日(木) 	① 82 ② 48 ③ 29
					計 5,625

5. 第1回ワークショップの実施結果

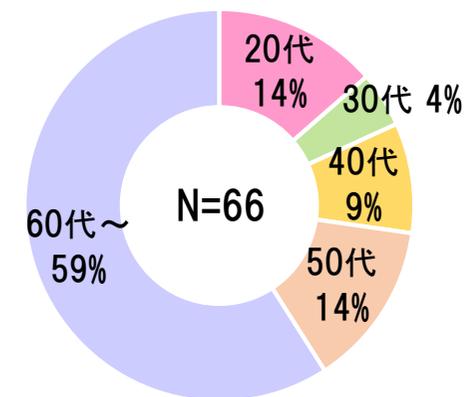
- 令和5年8月～9月の3日間で、埼玉県圏央道以南地域の交通課題などに関する意見やアイデアをとりまとめていく、第1回ワークショップを開催した。
- 片柳コミュニティセンター(見沼区)・緑区役所(緑区)・岩槻駅東口コミュニティセンター(岩槻区)の3会場で開催し、自治会・企業(物流関係者、観光関係者など)・警察・学生など、計66名が参加した。

■ワークショップの会場・参加者

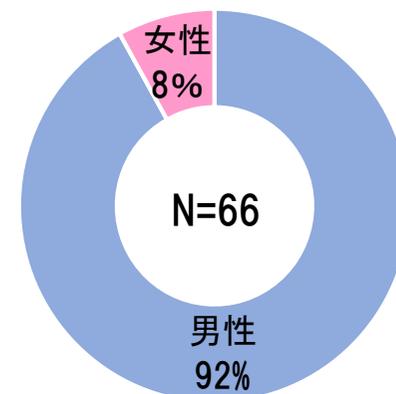
各会場では、以下の4グループ※に分かれてグループ討議を実施。

	Aグループ	Bグループ	Cグループ	Dグループ
片柳コミュニティセンター (見沼区) 令和5年8月24日(木)	公募による参加者	公募による参加者	染谷共栄自治会	東新井笹丸自治会
	片柳地区社会福祉協議会	南中野自治会	民生児童委員片柳地区会	みどりヶ丘自治会
	染谷自治会	片柳まちづくり協議会	膝子自治会	膝子自治会
	観光関係者	膝子自治会	観光関係者	物流企業者
		観光関係者		観光関係者
緑区役所 (緑区) 令和5年8月30日(水)	大崎自治会	公募による参加者	公募による参加者	公募による参加者
	寺山自治協力会	南部領辻自治会	中野田自治協力会	代山自治協力会
	玄蕃新田自治協力会	大門上自治会	大門中自治会	下野田自治協力会
	山崎自治会	山崎自治会	山崎自治会	山崎自治会
	馬場自治会	宿区自治会	宿区自治会	三室おぶさと自治会
	バス事業者	物流企業者	馬場自治会	物流企業者
	物流企業者	浦和東警察署	物流企業者	観光関係者
	観光関係者		観光関係者	岩槻警察署
	大宮東警察署		病院関係者	
岩槻駅東口 コミュニティセンター (岩槻区) 令和5年9月3日(日)	釣上新田自治会	真福寺自治会	柏崎自治会	横根上自治会
	和土住宅自治会	尾ヶ崎自治会	物流企業者	笹久保新田自治会
	学生	釣上自治会	物流企業者	物流企業者
		学生	学生	学生

【年齢】



【性別】



※グループ分けの留意点

- ①自治会の立地等をなるべく分散させる
- ②事業者の所掌範囲が極力被らず、グループ内で組織間の関係性を極力無くす
- ③年齢層・性別が偏らない (①>②>③の順で優先)

5. 第1回ワークショップの実施結果

令和6年3月7日 核都市広域幹線道路(埼玉新都心線～東北道付近)
第2回 地元検討会資料抜粋

■ワークショップの様子

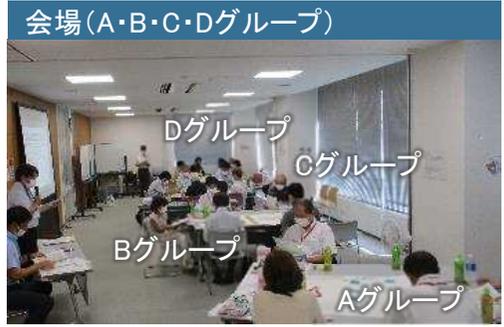
【片柳コミュニティセンター（見沼区）】



【緑区役所（緑区）】



【岩槻駅東口コミュニティセンター（岩槻区）】



6. コミュニケーション活動の実施結果

○「課題・効果の把握」に関する回答数は、合計5,625票(見沼区32%、緑区25%、岩槻区20%、その他23%)を得た。
 ○道路整備への必要性・要望に関する意見※1は3,318票あり、うち約9割が「必要性を感じる」と回答。「必要性を感じる」と回答した意見※1のうち、「核都市広域幹線道路への要望」に関する意見が約8割を占めた。
 ○核都市広域幹線道路等への要望※1は2,352票あり、「利便性の向上」「渋滞の緩和」「ルート」がそれぞれ約2割を占めた。

